

農林水産商工委員会資料

(農林水産部・商工労働部共管分)

■報告事項

① 2024 年島根県海外展開概況調査結果について

…P1～3

令和7年12月12日・15日
農 林 水 産 部
商 工 労 働 部

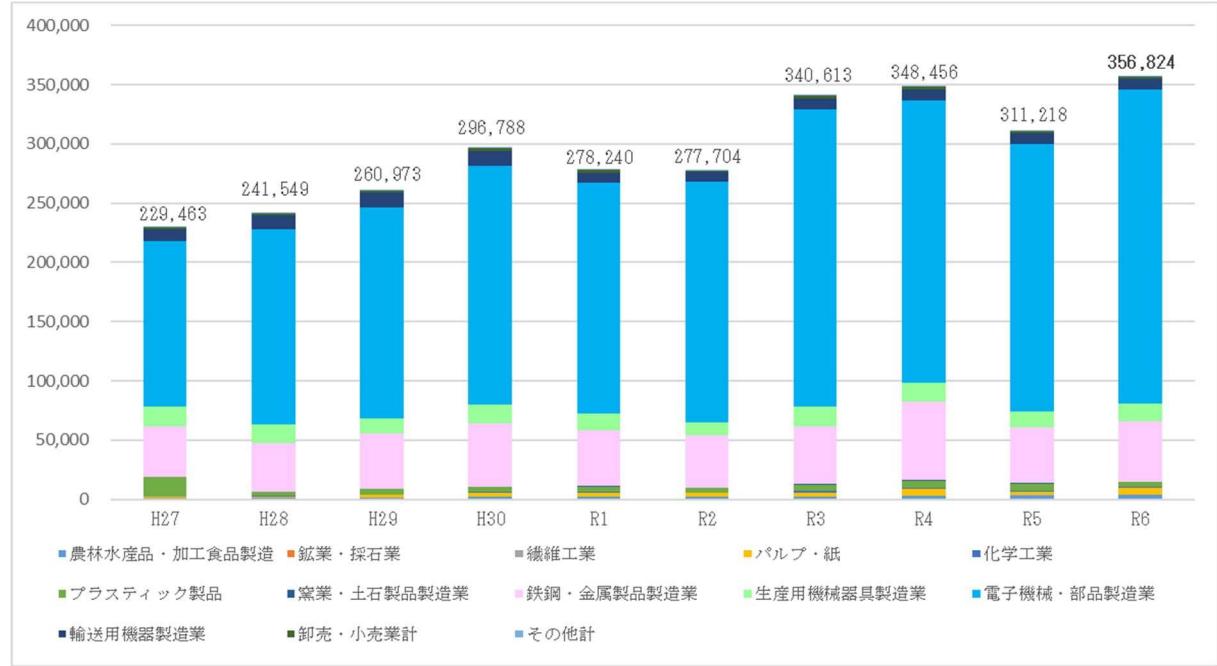
2024 年島根県海外展開概況調査結果について

1. 調査の概要

- ・ 調査対象期間：2024 年（令和 6 年）1 月～1 2 月（毎年実施）
- ・ 対象企業等：島根県内に本社または事業所を有する企業等
- ・ 調査依頼件数：535 件 有効回答：328 件（61.3%）うち、貿易実績あり 231 件

2. 県内企業の輸出の状況（全産業）

年度別輸出額推移 (単位：百万円)



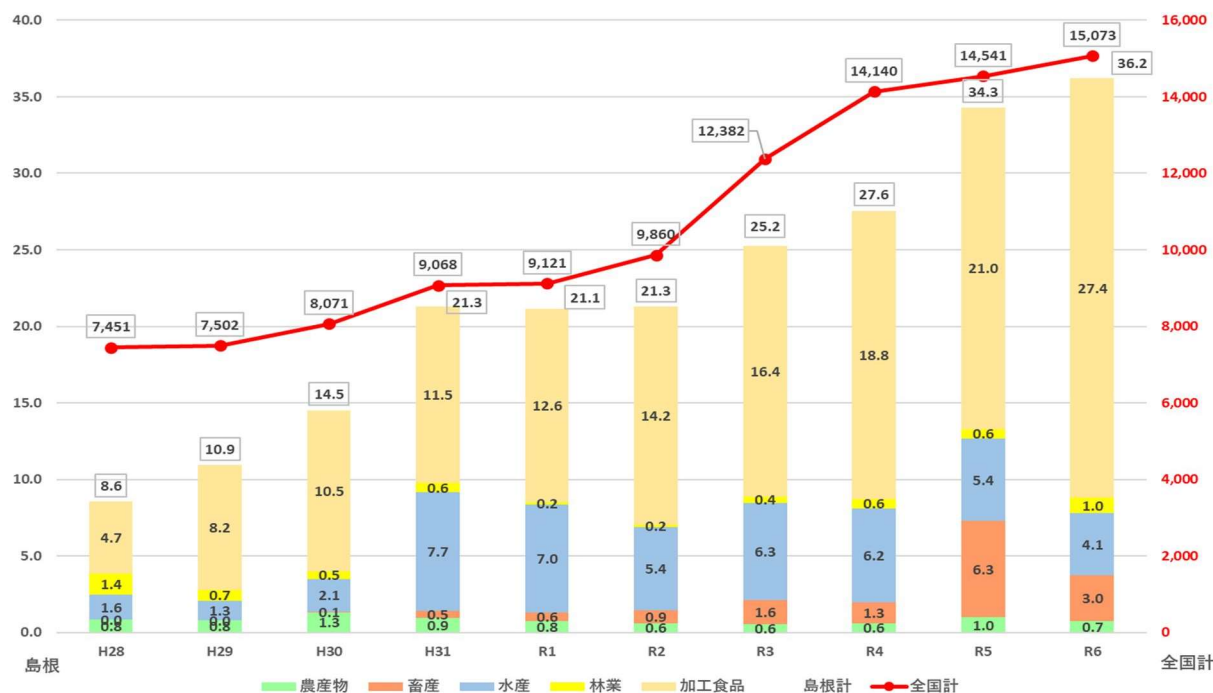
業種	R5	R6	増減	増減率	構成比
総合計	311,218	356,824	45,606	14.7%	100.0%
農林水産品・加工食品製造	3,430	3,623	193	5.6%	1.0%
鉱業・採石業	4	11	6	144.0%	0.0%
製造業(食品除く)	305,771	351,631	45,860	15.0%	98.5%
繊維工業	377	367	-10	-2.6%	0.1%
パルプ・紙	2,756	5,495	2,739	99.4%	1.5%
化学工業	876	1,074	199	22.7%	0.3%
プラスチック製品	5,901	4,059	-1,843	-31.2%	1.1%
窯業・土石製品製造業	484	525	42	8.6%	0.1%
鉄鋼・金属製品製造業	46,847	50,536	3,689	7.9%	14.2%
生産用機械器具製造業	13,103	15,223	2,120	16.2%	4.3%
電子機械・部品製造業	226,334	265,278	38,944	17.2%	74.3%
輸送用機器製造業	9,094	9,072	-21	-0.2%	2.5%
卸売・小売業計	1,956	1,518	-438	-22.4%	0.4%
その他計	56	40	-16	-28.3%	0.0%

- ・ 島根県内企業の輸出額は、3,568 億円
製造業（電子機械・部品製造業や鉄鋼・金属製品製造業、パルプ・紙など）が大きく伸長、対前年+456 億円、+14.7%となった。
- ・ 引き続き一部の大企業がけん引する形で、近年の増加傾向を維持

3. 農林水産物・食品の輸出の状況

(1) 輸出額推移（島根県/全国）

（単位：億円）



- ・農林水産物・食品輸出額は、36.2 億円（対前年+1.9 億円、+5.6%）
- ・近年の円安を追い風に、4 年間で 1.7 倍（R2（21.3 億円）比）に増加

(2) 品目別輸出額

（単位：千円）

品 目	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	増減率	構成比
農林水産物	1,328,400	878,762	-33.8%	24.3%
農産物	97,519	73,865	-24.3%	2.0%
畜産	631,554	298,722	-52.7%	8.2%
水産（冷凍魚、動物、鮮魚等）	538,195	408,313	-24.1%	11.3%
林業（原木等）	61,132	97,862	60.1%	2.7%
加工食品	2,101,692	2,744,520	30.6%	75.7%
お茶	562,681	938,258	66.7%	25.9%
酒	308,039	478,294	55.3%	13.2%
海産物加工	741,146	736,857	-0.6%	20.3%
菓子	329,332	397,367	20.7%	11.0%
みそ・醤油	86,887	81,844	-5.8%	2.3%
その他（各種調味料、蕎麦、ミネラルウォーター等）	73,607	111,900	52.0%	3.1%
総計	3,430,092	3,623,282	5.6%	100.0%

- ・農林水産物で輸出販売額が減少した主な原因は以下のとおり
 - 農産物：野菜は気象の影響、花きは生産者の減少により生産量が減少したため
 - 畜産：サステイナブル和牛の国内での人気が高まり、国内仕向け量が増えたため
 - 水産：サバ類やブリの漁獲量が減少したため

(3) 国別輸出額（トップ10）

（単位：千円）

順位	輸出国	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	前年増減率	構成比	主な輸出品目
1	アメリカ合衆国	527,387	810,403	53.7%	22.4%	酒、菓子、水産加工品、醤油、お茶
2	韓国	464,939	513,580	10.5%	14.2%	水産加工品、冷凍魚、木材、菓子
3	台湾	441,925	502,136	13.6%	13.9%	お茶、酒、果樹、冷凍魚
4	タイ	280,211	386,822	38.0%	10.7%	お茶、冷凍魚、牛肉、果樹
5	香港	529,271	378,450	-28.5%	10.4%	牛肉、菓子、水産加工品
6	中国	133,734	198,194	48.2%	5.5%	水産品、木材製品、菓子
7	ベトナム	209,044	120,486	-42.4%	3.3%	冷凍魚、お茶、菓子
8	スイス	21,667	88,825	310.0%	2.5%	お茶、牛肉、醤油
9	カナダ	49,761	75,240	51.2%	2.1%	お茶、水産品、酒
10	フランス	83,327	67,875	-18.5%	1.9%	お茶、菓子、牛肉、醤油
	その他	688,826	481,271	-30.1%	13.3%	
	総計	3,430,092	3,623,282	5.6%	100.0%	

- ・お茶は、昨今のお茶ブームもあり、アジア、欧州、米国など世界各地で拡大
- ・米国は、酒(+1.5億円)、菓子(+0.9億円)などがけん引
- ・前年1位の香港は畜産品の減などが影響
- ・東南アジアでは水産品が減少したが、ベトナムではお茶の輸出が拡大

まとめ

- ・円安基調が継続し、県内中小企業の海外への投資意欲は減退傾向にある一方で、輸出については、一部の大手企業の業績により落ち込んだ年もあるものの、総じて上昇基調。
- ・近年一貫して増加している農林水産品・加工食品の輸出は、引き続き増加したものの、伸び率としてはやや鈍化した。
輸出を大きく伸ばす企業とそうでない企業の二極化が進みつつあり、海外のニーズに対応できる企業の育成が必要。
- ・来年度の本調査においては、米国の関税措置による各企業の影響について留意していく。